



わじとび

コミセンわじろが広げたい
トピック情報を紹介

カラダとココロを整える4日間 ピラティスダイエット教室

昨年大好評だった「ピラティスダイエット教室」を開催します。ピラティスは、骨盤や背骨などの筋肉を鍛えるエクササイズで、体の歪みからくる肩こりや腰痛、冷えなどのトラブルの解消にもつながります。レッスンは、初めての方でも参加しやすい全4日間のプログラム。短期間でピラティスの効果を実感でき、夏に向けて体を引き締めたい！という方にオススメです。また、託児もついているので、お子さんを持つ方でも安心！ぜひこの機会に参加してください。

【日程】6月22日・6月29日・7月6日・7月13日
（毎週水曜日）の全4日間 【定員】各回10名
【時間】《午前の部》10:00～11:30
《午後の部》13:00～14:30
【参加費】1,500円／1回（託児:500円／1人）
※4回通し券 5,000円（先着10名）
【講師】スポーツ指導員 西山 優里
【お問合せ】092-608-8480



初めての方
大歓迎！
（託児あり）



「残す景色」と「新しい景色」がかさなる情報誌 wajicoリニューアル

コミセンわじろの指定管理を担い、今年度で11年目を迎えました。今年度からは、和白5校区から西戸崎校区や志賀島校区まで範囲を広げ、さらなる地域の魅力を発信していく予定です。この度、コミセンわじろ情報誌「wajico」がリニューアルしました。地域の中でも残していきたいもの、新しいものなどさまざまな価値観がある中で、その価値観の「かさなり」を表現していく情報誌を目指します。各コーナー名はひらがなで親しみやすい名前にしました。

自分たちの活動を紹介して欲しい！などありましたら、スタッフまでお声掛けください。これからも地域の皆さんと一緒に愛されるメディアに育てていきたいと考えていますので、応援よろしくお願いします。

【wajicoについてのお問合せ】092-608-8480



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27
☎092-608-8480 FAX:092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで（多目的ホールは午後10時まで）
【休館日】毎月最終月曜日（祝日のときは翌日）、及び年末年始（12/28～1/3）

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <https://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



公式HP facebook



WAJICO

「残す景色」と「新しい景色」がかさなる情報誌【ワジコ】

37

June.2022
Summer

Contents

わじろぐ 風止め奉納相撲大会

わじおし 和白東のイチジク（無花果）

わじじん 餅越 貴美子（奈多公民館主事）

わじかつ Let's Sing!!（レッツシング!!）

わじとび ピラティスダイエット教室

わじくみ wajicoリニューアル

記

わじろぐ

わじろで残したい情景を
ログする(記録する)コーナー

ずっと守られてきた神事 風止め奉納相撲大会

神功皇后が征西の際に暴風雨に遭い、それを鎮めるために投げた船の苦のうちの3枚の苦が海岸に流れ着いたことからこの地域が「三苦」という名が付けられたと言われています。苦を投げる際に、流れ着いたところに神社を建てると誓ったことから、海の神様が祀られている「綿津見神社」が建てられました。古くから風が強い地域となっておりその風をおさめるために、1784年に「奉納相撲」として始まったのが今回紹介する「風止め奉納相撲大会」です。

約250年前に始まった相撲大会は、毎年7月28日に神事として実施され、長く受け継がれてきました。三苦出身の子どもや若者が世代別に相撲をとり、かつては応援に多くの方が集まる、地域での大きな神事の一つでした。特徴的なのは、0歳から1歳の男児の土俵入りです。古くは相撲で一番強い男性が抱きかかえて乳児の土俵入りを行っていましたが、今では写真(上)のように三苦小学校の6年生がその役割を担うなど、時代に合わせて少しずつ形を変えながら継続しています。

現在は、実行委員会の形で実施されており、そこに子ども育成連合会の皆さんがサポートして運営しています。

このように三苦出身であれば参加するのが当たり前



の神事でしたが、近年では参加者も減り、関心が薄れてきていることが継続していく上で課題となっています。長い歴史の中で時代に合わせて大切に守ってきた神事です。この神事を途絶えさせたくないという想いも強く、地域の皆さんの積極的な参加や協力を願っています。

相撲大会としては、この「風止め奉納相撲大会」の他にも、7月の夏休みに入り最初の土曜日に和白校区と三苦校区共同の「子ども相撲大会」も開催されます。今年も実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症対策などを行いながら工夫して実施する予定です。約250年前から続いている伝統ある相撲大会。今後も継承されてほしい地域の大切な神事です。

【お問合せ】092-606-4511(三苦公民館)

※表紙の写真は、約20年前の風止め奉納相撲大会の様子

推

わじおし

わじろで最近流行の
推しものを紹介するコーナー

太陽を浴びた甘味の強さが魅力 和白東のイチジク(無花果)

和白東校区高美台に、100本以上のイチジクが植わっています。ここで採れるイチジクは、甘くて美味しい!と地元の方からとても人気が高いです。完熟してから採り、すぐに店頭と並ぶため、とても新鮮。魚介の入った肥料や井戸から汲んだ水を使うなど手間をかけて大切に育てられていることも美味しさに繋がっています。8月から11月にかけて採ることができ、特に9月までに採れるイチジクは甘みが強いのが特徴。ここでは、冷凍したイチジクを販売することもあり、ジャムやシャーベットにして食べるのもおすすめです。

たくさんの太陽を浴びてすくすく育ったイチジク、ぜひ食べてみてください。

【お問合せ(取材協力)】岩隈農園(高美台1丁目47)



人

わじじん

地域の優れた取り組みに
携わる人を紹介

みんなの善意でできた「ありが袋(たい)」 餅越 貴美子(奈多公民館主事)

奈多校区では、携帯電話を肩からぶら下げる事ができる「ありが袋(ありがたい)」を作成し、一人暮らしの高齢の方を中心に住民の方に配っています。この取り組みの成り立ちや活動を、奈多公民館の餅越主事に聴きました。

始まりは、東区の他の公民館から、布がたくさんあるが何か活用できないかと相談を受けたことからです。以前家で一人で暮らしている方が具合悪くなり、助けを呼ぶにも携帯電話が無く、人を呼ぶ事ができなかったという事を聞いた事がきっかけにケースを作ることを思いつきました。今回は布だけでなく、紐や糸も地元のカーテンの会社や住民の方が持ち寄り、多くの方の善意で出来上がりました。洋裁が得意なボランティアの方を



募り、布を裁断する人や縫う人と担当を振り分けて、週に2回ほど奈多公民館で作業を行いました。目標である500個を作成し、その後も広がりを見せて約1000個の「ありが袋」を配布しました。参加したボランティアの方からも、「役に立つ事ができて楽しかった!」という声も聞かれました。コロナ禍でありながら、今回の活動が新たなつながりを生み出しています。餅越主事をはじめとする方々の「地域のために」という思いやりは、多くの人々に広がりながら、善意をつないでいます。

【お問合せ】092-607-4697(奈多公民館)



活

わじかつ

わじろで継続的に
活動している団体を紹介

歌を歌う楽しさをみんなで共有

Let's Sing!! (レッツシング!!)

Q. どんな活動をしていますか?

A. ニューヨークを中心にミュージカルの舞台などで活躍されていた横山先生が帰国したことをきっかけに、以前より一緒に第九を歌っていたメンバーが再び第九を歌おうと立ち上がり「Let's Sing!!」が結成されました。現在30名程で毎週水曜日の夜にコミセンわじろの多目的ホールを使って練習しています(写真左下)。昨年10月には合唱サークル「美和台グリーンサラダ」と合同発表会(写真右上)も行いました。

Q. この団体ならではの魅力は?

A. ただ歌うだけではなく、横山先生のご指導のもと、歌う前にみんなでストレッチを行い、体全体を使っている



ところです。他にも呼吸法や息の流れ、舌の位置など専門的なことも学ぶことができるのが魅力です。そのご指導のおかげで声がスムーズに出ようになり、さらに歌うことが楽しくなりました。「知るは喜び学ぶは楽しい」という言葉を以前教えていただいたのですが、その通りで、新しいことを深く知ることができるのがこのサークルの魅力です。

Q. 今後の活動を教えてください

A. 新型コロナウイルス感染症拡大のため、練習する機会や場所が減ってしまいました。中でもコミセンわじろは活動人数に対して規模的にもちょうど良く使いやすいです。今後は8月27日(土)の発表会に向けて練習を続けています。早くコロナ禍を乗り越えて第九をみんなで声と心を合わせて歌い続けることがこれからの目標です。メンバーも募集していますので興味がある方はぜひ一度見学に来られてください。

【お問合せ】092-608-8480(コミセンわじろ)